

力を込めて大豆を引き抜く児童＝高山市久々野町久々野、久々野小学校



育てた大豆「採れた！」

久々野小児童、力いっぱい引き抜く

高山市久々野町久々野の久々野小学校で5日、3年生が春から校内の畑で育ててきた大豆約70本を収穫した。

大豆の栽培や加工を通じて、食と農業に理解を深めてもらおうと、JA岐阜中央会などが取り組む「まめなかな運動」の一環。毎年、JAひだ女性連絡協議会久々野支部が栽培を指導。児童33人は5月に種まきし、欠かさず水やりをして育ててきた。

同協議会の矢島生子会長

は「土の恵みが受けられることに感謝して」と、改めて活動の意義について話した。

児童らは、しっかり根を張った大豆を力いっぱい引き抜き、「やった、採れた」と喜んだ。また大豆の枝で編む「手裏剣」の作り方を教わり、苦労して完成

させると、早速投げて遊んだ。

来年1月には、収穫した大豆などで豆腐を作る。

(大成朋広)